WAGO Docker Node-RED





WAGO Docker Node-RED



Ver. 1.0.0

初版 2022/12/27(日本語版)



本アプリケーションノートについて

このアプリケーションノートでは WAGO Ethernet フィールドバスコントローラにおいて DockerコンテナのNode-REDを使用し、Docker環境の構築、Node-REDの使い方の解 説を行っております。使用にあたってはこのアプリケーションノートだけではなくお使いの WAGO フィールドバスコントローラ取扱説明書、Github、Docker ユーザーズマニュアル も必ずお読みください。

使用者の資格基準

本書で説明する製品は、PLC プログラミングの資格を有する技術者、電気機器の専門 技術者、または適用規格を熟知している電気機器の専門技術者の指導を受けた者が必 ず操作してください。不適切な作業による損害、または本書の内容を順守しないために 発生したワゴ製品および他社製品の損害について、ワゴジャパン株式会社は一切の責 任を負いかねますのでご了承ください。

使用機材

このアプリケーションノートを作成にあたっては以下の機材を使用しました。

機材	型番	製造者	備考
Compact Controller100	751–9301	WAGO	
DC24V スイッチング電源ユニット	787–2850	WAGO	

対象WAGO製品

本アプリケーションノートの内容は以下のコントローラで使用することが可能です。

詳しくはこちらのカタログでご確認いただけます。

PFC200 G2(750-821x)シリーズ

Edge Controller(752-8303/8000-0002)

TP600(タッチパネル)シリーズ

Compact Controller100(FW23以上)

1

1 コントローラのセキュリティ設定

WAGO コントローラはインターネットアクセス機能が搭載されています。セキュリティを保 持するために「コントローラ用サイバーセキュリティPFC100/PFC200」も併せてお読みく ださい。

https://www.wago.com/global/d/15739

1.1 固定IPアドレスを一時的に設定します

この手順では、X1インターフェイスのIPアドレスを一時的に固定アドレス「192.168.1.17」 に設定します。スイッチを有効にすると、固定アドレスがインターフェイスX2にも使用され ます。スイッチが無効になっている場合、インターフェイスX2の元のアドレス設定は変更 されません。再起動は行われません。



この設定を行うには、以下の手順に従います:

1. モード切替スイッチを「STOP」に設定

2. リセットボタン「RST」を8秒以上押し続けます。

設定の実行は、「SYS」LEDがオレンジ色に点滅することによって信号で伝えられます。

このアドレスにアクセスするには、接続されているPCのIPアドレスが同じ範囲内 にある必要があります(例:192.168.1.1)。 本手順で設定した、固定IPアドレスは電源を落とすとリセットされます。 IPアドレスの設定方法については、1.2.1を参照ください。



1.2 PFCデバイス設定

アドレスフィールドに一時的なIPアドレスを入力して、PFCの内部Webページにアクセスします。(下記画像はMicrosoft Edgeを使用した場合の例)

\leftarrow	C	â	▲	セキュリテ	ィ保護なし	http	ps ://19	2.168.1.	.17		$\forall_{\mathscr{D}}$	τõ	5⁄≡	Ē		
🄶 Po	ower App	s Home														
	接続	がプ	ライ	ベー	トでは	あり	しませ	tん								
	攻撃者	が、192	.168.1	I.17 から	個人情報	(パスワ	7ード、	メッセ	zージ、ク	フレジッ	トカ・	-ドな	ど) を盗	み取ろ・	うとし	
	ている	可能性カ	*あり	ます。												
	NET::ER	R_CERT_AU	JTHOR	ITY_INVAL	ID											
														_		
	詳細	設定													戻る	

PFCのデフォルトのHTTPS証明書は自己発行されます。これは、この警告が表示される可能性があることを意味します(セキュリティ設定によって異なります)。

\leftarrow	C	G	▲	セキュリ	ティ保護	なし	https	://192	2.168.1.	17			A»	20	۶	<u>_</u>	Ē		
🄶 P	ower App	s Home																	
	このサ	ーバーは	t 192.	.168.1.	17 であ	るこの	とを証明 ロナねつ	明でき	ません	」でした	E。 +Z = =⊡ // →	キュ!	ノティ	(証明	書は	、 ⊐ #9/ +/	ンピョ	. ータ マサ中	
	されて	ヘレーテ	- イン も性が	ク ンス ありま	テムか す。	611日 籾	貝 さ 위 (いま	せん。	(構成に	. 誤 り 7)	いめら	7,70	按称:	7) 火:	学石	によつ	(奶苦	
	<u>192.16</u>	3.1.17 に進	む (安	全ではお	ありませ	<u>ん)</u>													
	詳約	田を非表示	示にす	3														戻る	

「詳細設定」ボタンをクリックし、「192.168.1.17に進む(安全ではありません)」リンクを クリックします。

N⁄ Ag	
Hostname: Description:	CC100-4ECA7C WAGO 751-9301 Compact Co
Username	
Password	
	Guest

WBM(Web Based Management)へのログイン画面が表示されます。 UsernameとPasswordを入力します。 (デフォルト:username:「admin」/ password:「wago」)

Device Status

Device Details		^
Product Description	WAGO 751-9301 Compact Controller 100	
Ordernumber	751-9301	
Unique Item Identifier (UII)	37SUN31564010260470190+000000002362	
License Information	Codesys-Runtime-License	
Firmware Revision	04.01.10(23)	

「Firmware Revision」が「04.01.10(23)」以上であることを確認します。

751-9301をご使用の場合で、()カッコ内の数字が23以下の場合は、

<u>こちらのドキュメント</u>を参考にファームウェアアップデートをしてください。



1.2.1 IPアドレス設定

本アプリケーションノートでは、X1ポートをローカル接続用の固定IP、X2ポートをインターネット接続用のDHCP設定にし、X1/X2ポート分けて使用します。

はじめに、WBMで**Configuration** > **Networking** > **Ethernet Configuration**を選択 し、X1/X2ポートそれぞれ別のIPアドレス設定ができるよう下図のように変更します。

Net	tworking	Changes will take ef	fect immediately.	
	TCP/IP Configuration	Bridge Configurat	ion	^
	Ethernet Configuration	Port Mapping		
	Host-/Domain Name	Any change to the device	bridge configuration can interrupt the IP	connection to the
	Routing	device.		
		Bridge	Pe	ort
Clo	ck		X1	X2
		1	•	
Adr	ninistration	2		•
Pac	kage Server	docker0		
Ma	ss Storage			Submit

次に、WBMでConfiguration > Networking > TCP/IP Configurationを選択し、

Network Details Bridge 1(br0)の設定を「Static IP(固定IP)」、「Static IP Address」「Subnet Mask」を設定し、「Submit」ボタンをクリックします。

Network Details Bridge 2(br1)の設定は、「DHCP」を選択し、「Submit」ボタンを クリックします。

TCP/IP Configuration	*		
If the IP source of a ne active in the system he Changing the source v	twork interface is 'external', it is likely that an application as adopted the IP configuration for this interface. would probably affect the functionality of this application.		
-Network Details Bridge	1 (br0)	- Network Details Bridge	2 (br1)
Current IP Address	192.168.1.17	Current IP Address	0.0.0.0
Current Subnet Mask	255.255.255.0	Current Subnet Mask	0.0.0.0
Current Default Gateway	0.0.0.0	Current Default Gateway	0.0.0.0
IP Source	Static IP ~	IP Source	DHCP ~
Static IP Address	192.168.1.17	Static IP Address	0.0.0.0
Subnet Mask	255.255.255.0	Subnet Mask	0.0.0.0
Default Gateway		Default Gateway	
	Submit		Submit



1.2.2 時刻設定

PLC Runtime	Clock Settings	
Networking	Timezone and Form	nat ^
Clock	Timezone	JST: Japan / Korea Standard Time 🗸 🗸
Administration	TZ String	JST-9
Package Server	Time Format	24 hour format ~
Mass Storage		Submit
Software Uploads	UTC Time and Date	^
Ports and Services	UTC Date	26.12.2022
Cloud Connectivity	UTC Time	06:06:35
SNMP		Submit
Docker	Local Time and Date	e ^
	Local Date	26.12.2022
Users	Local Time	15:06:36
		Submit

WBMで「Clock」をクリックします。 「Time zone」で現在のタイムゾーンを選択し、「Change」ボタンをクリックします。

その後、Local Time and DateにLocal Date および Local Timeを設定し、「**Submit**」を クリックします。



1.2.3 NTP設定

WBMで、Port and Services > NTP Client の順にクリックします。	
NTPサーバの設定には、IPアドレスを入力するか、URLを入力します。	

```
IPアドレスで、NTPサーバを入力する例:
216.239.35.0 : Google Public NTP (time1.google.com)
216.239.35.4 : Google Public NTP (time2.google.com)
216.239.35.8 : Google Public NTP (time3.google.com)
216.239.35.12 :Google Public NTP (time4.google.com)
```

Clock	NTP Client Configura	tion ^
Administration	Service enabled	
Package Server	Update Interval (sec)	43200
Mass Storage	Time Server 1	216.239.35.0
Software Uploads	Time Server 2	216.239.35.4
Ports and Services	Time Server 3	216.239.35.8
Network Services	Time Server 4	216.239.35.12
NTP Client		Update Time Submit
PLC Runtime Services	-Additionally assigned (DHCP)

URLで、NTPサーバを入力する例: ntp.nict.jp : NICT NTP time.google.com : Google Public NTP

NTP Client Configuration ^						
Service enabled	Z					
Service Result	Time server available					
Update Interval (sec)	43200					
Time Server 1	ntp.nict.jp					
Time Server 2	time.google.com					
Time Server 3						
Time Server 4						
	Update Time Submit					

2 Dockerのインストール

2.1 Dockerのインストール

WBMの Configuration > Docker を選択します。

Networking	Docker Settings	
	Docker Status	^
Clock	Service Installed	
Administration	Service Active	
Package Server		Submit
Mass Storage		
Software Uploads		
Ports and Services		
Cloud Connectivity		
SNMP		
Docker		

「Service Installed」および「Service Active」に☑を入れ、[Submit]を押し、インスト ールが終わるまでしばらく待ちます。

インストールが終わったら、右上の [Reboot] をクリックしてコントローラを再起動します



3 Linuxコンソールヘログイン

本章では、PuTTYと呼ばれるフリーウェアのSSHおよびTelnetクライアントを

使用して解説をします。<u>https://www.putty.org/</u>



PuTTYは、「Package files」のファイルを使用してインストールするか、「Alternative binary files」のファイルを使用してインストールせずに使用することができます。

					_
Package fil	es				
You probably	want one of these. They include versions of	f all the PuTTY utili	ties.		
(Not sure whe	ether you want the 32-bit or the 64-bit versic	on? Read the <u>FAQ e</u>	ntry.)		
MSI ('Windo	ows Installer')				
32-bit:	putty-0.73-installer.msi	(or by FTP)	(signature)		
64-bit:	putty-64bit-0.73-installer.msi	(or by FTP)	(signature)		
Unix source :	archive				
.tar.gz:	putty-0.73.tar.gz	(or by FTP)	(signature)		
Alternative	e binary files				_

RuTTY Configuration	?	\times		
Category:				
Session	Basic options for your PuTTY session			
	Specify the destination you want to connect to			
Keyboard	Host Name (or IP address) Port	t		
Bell	192.168.1.17 22			
— Features ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	Connection type: ○ Raw ○ <u>T</u> elnet ○ Rlogin ● <u>S</u> SH ○ Serial			
	Load, save or delete a stored session Saved Sessions Close window on exit: Always Never Only on clean of the second s	<u>L</u> oad Sa <u>v</u> e Delete exit		
About Help	Open	Cancel		

PuTTYを起動すると、次のウィンドウが表示されます:

「Host Name」にIPアドレスを入力し、「Connection Type」が「SSH」、「Port」が22 であることを確認します。

「Close windows on exit」で「Never」を選択し、「Open」ボタンをクリックします。

rootユーザでコントローラにログインします、(デフォルトパスワード:"wago")



最初の接続時に、パスワードが変更されるまで、デフォルトのパスワードの変更要求 がされます。セキュリティ上デフォルトパスワードから変更することを強く推奨します。

 ※ 192.168.1.17 - PuTTY
 ◇ login as: root root@192.168.1.17's password:
 WAGO Linux Terminal on CC100-4ECA7C.
 Security message: please change your password!
 New password: Retype new password: passwd: password updated successfully root@CC100-4ECA7C:~ docker -v Docker version 20.10.14-wago, build f0df241 root@CC100-4ECA7C:~
 次のコマンドを使用して、dockerソフトウェアが実行されていることを確認します。

 pingコマンド

" ping www.google.com "でインターネット接続を確認してください。

http://www.google.com/



Pingコマンドは自動では停止しませんので、ネットワーク接続が確認できたら、 キーボードの「ctrl+c」を押して、Pingを停止します。

ping:bad address 'www.google.com'と表示される場合にはネットワークやDNSの 設定を確認してください。

4 Node-REDのユースケース

4.1 Node-REDコンテナの違い

Node-REDの推奨コンテナは以下の通りとなります。

- オフィシャル版;:<u>https://hub.docker.com/r/nodered/node-red</u>
- WAGO版::<u>https://hub.docker.com/r/wagoautomation/node-red-iot/</u>
- CC100用: <u>https://flows.nodered.org/node/node-red-contrib-wago-cc100</u>

主な違いは、WAGO版のコンテナには、デフォルトでいくつかのノードがインストールされた状態でインストールされます。

- node-red-contrib-bacnet
- node-red-contrib-homekit
- node-red-contrib-iiot-opcua
- node-red-contrib-modbustcp
- node-red-contrib-telegrambot
- node-red-dashboard
- node-red-node-base64
- node-red-node-msgpack
- node-red-node-random
- node-red-node-suncalc

WAGOコンテナには、Node-REDでオプションとして使用可能なノードの一部をインストールするために必要なpythonや開発ツールがありません。

CC100用のコンテナには、上記のコンテナはインストールされていません。 内臓IOを使用するための権限をNode-REDコンテナに付与した状態でインストールされるため、内臓IOをNode-REDで制御する場合には、CC100用を使用することを推奨いたします。

4.2 Node-REDのインストール

コンテナをインストールして実行するには、特定のコマンドを使用する必要があります。このコマンドの重要なオプションは次のとおりです:

"docker run"	新しいコンテナでコマンドを実行
"-d,detach"	コンテナをバックグラウンドで実行
"name string"	コンテナに名前を割り当てます
"restart string"	コンテナが終了したときに適用される再起動ポリシー
	(デフォルトは″no″)
″-p,publish list″	コンテナのポートをホストに公開します
"-v,volume list"	ボリューム(image)を結合します
"image:version"	コンテナ名とそのバージョン

その他のコマンドやより詳細の内容については、Docker公式ドキュメントを参照 ください。

ユースケースでは、次のコマンドを使用してCC100専用コンテナをインストールし

ます。

```
docker run -d --name wago-node-red \
-d --privileged=true --user=root \
-p 1880:1880 \
-v node_red_user_data:/data \
nodered/node-red
```

🛃 192.168.1.17 - PuTTY	_		Х
<pre>root@PFC200V3-42C9C8:~ ping www.google.com PING www.google.com (172.217.26.100): 56 data bytes 64 bytes from 172.217.26.100: seq=0 ttl=52 time=41.986 ms 64 bytes from 172.217.26.100: seq=1 ttl=52 time=56.409 ms 64 bytes from 172.217.26.100: seq=2 ttl=52 time=57.602 ms 64 bytes from 172.217.26.100: seq=3 ttl=52 time=258.025 ms ^C www.google.com ping statistics 4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss</pre>			^
<pre>round-trip min/avg/max = 41.986/103.505/258.025 ms </pre>	d:lates	ŧt	
			\sim

コンテナをダウンロード中。

P 192.168.1.17 - PuTTY	_		×
64 bytes from 172.217.26.100: seq=1 tt1=52 time=56.409 ms			~
64 bytes from 172.217.26.100: seq=2 ttl=52 time=57.602 ms			
64 bytes from 172.217.26.100: seq=3 tt1=52 time=258.025 ms			
^C			
www.google.com ping statistics			
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss			
round-trip min/avg/max = 41.986/103.505/258.025 ms			
<td>ed:late</td> <td>st</td> <td></td>	ed:late	st	
Unable to find image 'nodered/node-red:latest' locally			
latest: Pulling from nodered/node-red			
856f4240f8db: Pull complete			
0ea0270eaa0b: Pull complete			
6067b7ad6974: Pull complete			
68eb5a3384e3: Pull complete			
49f0e44a8553: Pull complete			
3390ee6654fc: Pull complete			
869276699c9f: Pull complete			
607ecdlae963: Pull complete			
23e2fa3763b4: Pull complete			
858a08225bb2: Pull complete			
Digest: sha256:086ccdefd0adddd9a677b366b562af4daaf89a5c5eb9cdb76	baef145	c190b7	/d9
Status: Downloaded newer image for nodered/node-red:latest			
42f2cfa922e8e1876251f4c1b39b493e8360a8d4a21f3f09 <u>d4355c14cf3d8698</u>			
root@PFC200V3-42C9C8:~			~

コンテナが正常にダウンロードされ、Node-REDが起動します。

Node-REDコンテナは、起動に数分を要します。

4.3 Node-REDの使用

Node-REDにアクセスするには、ウェブブラウザを開き、次のURLを使用します: http://<IP Address>:1880 (例:http://192.168.1.17:1880)

S WAGO Ethernet Web-based	Man 🗙 🧟 Node-RED : 192.168.1.	17 × +			- 🗆 ×
← → C ☆ ③ Not	t secure 192.168.1.17:1880/#flov	v/d55e61f.23959a			🖈 📴 🥥 🔀 :
Node-RED					=/ Deploy -
Q filter nodes	Flow 1		+ 😑	i info	i <u>*</u> -
~ common			*	~ Informa	ation
inject				Flow	"d55e61f.23959a"
- injoce				Name	Flow 1
debug				Status	Enabled
complete				~ Descrip	otion
catch					
link in				1	
link out					
comment					
~ function					
of f function o					- 2 ×
switch				You o	an manage your palette of
ф 🗶 change					nodes with alt-ûp
off range o					
× ×			III - 0 +		

右上のボタン(Node-REDメニュー)をクリックすると、Node-REDの現在のバージョンを確認できます:

🚱 WAGO Ethernet Web-based Man 🗙 👺 Node-RED : 192.168.1.17	× +	- 🗆 X
← → C ☆ ③ Not secure 192.168.1.17:1880/#flow/d5	e61f.23959a	🖈 隆 🔍 🔞 🗄
Node-RED		■/■ Deploy ▼
Q filter nodes Flow 1	+ 😑	i info < View
✓ common		V Infor Import Flow Export
inject debug		Name Search flows Status
complete		Configuration nodes Flows Subflows
4 status		Manage palette
ink ut		Settings Keyboard shortcuts
comment		Node-RED website v1.0.2
v function		
f function		C x
switch		You can remove the selected nodes or
Change Ch		links with delete
	· ·	

4.4 新しいノードのインストール

新しいノードをインストールする方法を説明するために、node-red-contribwago-cc100をインストールします。これはCC100の内臓IOを使用するためのノ ードです。



Node-REDメニューを開き、 Manage palette(パレットの管理) を選択します。 「ノードを追加」をクリックし、更新ボタンをクリックします。

「search modules」バーで、必要なモジュールを検索します。

列:wago	
表示	現在のノード ノードを追加
パレット	▲ 並べ替え: ! 辞書順 日付順 2
	Q wago 5 / 4183 x
キーボード	 @wago/node-red-io-api △ A set of nodes to interact directly with WAGO PFC controllers I/O bus. Controller should be runnung the open source wago-kbus-api 1.0.4
	 node-red-contrib-wago-cc100 C[*] Handle EA's on CC100 PLC 0.1.0 f ⇒ 月前
	 ・ ・ のplus4nodered/node-red-contrib-wago-cc100 ・ へ ・
	 ・ ・ のode-red-plus/node-red-contrib-wago-cc100 本
	 node-red-contrib-remote-io A sample node for node-red 3.1.1

ここでは「node-red-contrib-cc100」のノードを追加します。

ノードのダウンロードおよびインストール中に、「View log(ログを確認)」ボタンをクリックすると、「Event log」を確認できます。

```
2022-12-27T04:05:24.567Z j@jm : node-red-contrib-wago-cc100 0.1.0
2022-12-27T04:05:24.860Z npm install --no-update-notifier --no-fund --save --save-prefix=~ --production --engine-strict node-red-contrib-wago-cc100@0.1.0
2022-12-27T04:05:35.4312 [err]
2022-12-27T04:05:35.432Z [err]
2022-12-27T04:05:35.432Z [err]
2022-12-27T04:05:35.442Z [err] config production Use `--omit=dev` instead.
2022-12-27T04:05:45.518Z [out]
2022-12-27T04:05:45.518Z [out]
2022-12-27T04:05:45.518Z [out]
2022-12-27T04:05:45.680Z rc=0
```

ログの最後が「rc=0」の場合、ノードは正常にインストールされています。

4.4.1 node-red-contrib-cc100の動作確認

<u>こちら</u>のJSONテキストをコピーし、Node-REDメニューより読み込みをします。

ローを読み込み	
クリップボード	JSON形式のフローデータを貼り付け
ローカル),
サンプル	{ "id": "ad90a28f46cb8651", "type": "debug", "z": "cf11c07bb539e1de"
	"name": "", "active": true, "tosidebar": true,
	"console": false, "tostatus": true, "complete": "payload", "teratTure," "moon"
	"statusVal": "payload", "statusType": "auto", "x": 870.
	"y": 1700, "wires": [] }
読み込み先 現在	のタプ 新規のタブ
	中止 読み込み
	ローを読み込み クリップボード ローカル サンプル 読み込み先 現在

サンプルノードが読み込みされるのでデプロイを押します。

Node-RED : 192.168.1.17 × +		\sim	-		×
← → C ▲ 保護されていない通信 192.168.1.17:1880/#flow/cf11c07bb539e1de	QI	₽ ☆	*		÷
💶 Kurt Braun - YouTube 😽 ヤマトビジネスメンバーズ 📃 WAGO OFFICE 📒 We@W		»	<mark>.</mark> 7	の他のブック	マーク
RED Node-RED		-⁄"	デプロ1	í 🔻	≡
Q. ノードを検索 Flow 1 CC 100				+	-
() top request					-
udp in true sector					-{
udp out					
> シーケンス □ ⇒ true () Set 502					-(
split split					
					-(
1 sort					
true Sec.004					-(
					• •
					+ C

True/falseボタンを押すと、デジタル入出力の簡単な制御が可能です。

4.5 Node-REDの更新

コンテナを更新するには、次のコマンドを使用します: ["]docker pull nodered/node-red:latest"

ここで、"nodered/node-red:latest"は更新するコンテナのソースです。

更新が完了したら、コンテナ再起動する必要があります。restartコマンドは存在 しないため、最初にコンテナを停止する必要があります。 コンテナ停止 「docker stop node-red」 コンテナ起動: 「docker start node-red」

"node-red"はコンテナ付けられた名前です。

5 付録

ワゴジャパンでは、オープンソースに関わるDockerやNode-REDなどに関連する テクニカルサポート及び動作保証は行っておりません。

動作についてのご質問、修正依頼等ございましたらこちらのフォーラムまたはGithubの Issuesにて英語にて投稿くださいますようお願いいたします。

WAGO OPEN SOURCE FORUM: https://www.wago.community/

WAGO Github :<u>https://github.com/WAGO/docker-ipk</u> ※DockerコンテナをSDカード上で動作させる手順などこちらで紹介しております。



ワゴ ジャパン 株式会社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-5-7 錦糸町プライムタワー Tel: (03) 5627-2050 (代) Fax: (03) 5627-2055(代) Web: https://www.wago.co.jp

WAGO GmbH & Co. KG

Postfach 2880 • D-32385 Minden Hansastraße 27 • D-32423 Minden Phone: 05 71/8 87 - 0 Fax: 05 71/8 87 - 1 69 E-Mail: <u>info@wago.com</u> Internet: https://www.wago.com